

第2回 セミナー・ワークショップ

開催レポート

令和5年度 中小企業サイバーセキュリティ対策継続支援事業



📷 セミナー・ワークショップ会場の様子

📷 ワークショップで発表する参加者の方々

第2回セミナー・ワークショップ概要

令和5年8月22日（火）、東京都主催『中小企業サイバーセキュリティ対策継続支援事業』第2回セミナー・ワークショップが開催されました。

第2回のセミナーでは、「これからの企業経営に必要な攻めと守りのIT活用およびサイバーセキュリティ対策」をテーマに、「これからの企業経営に必要な観点：社会の動向」、「守りのIT投資と攻めのIT投資」、「経営投資としてのサイバーセキュリティ対策」の3つのトピックについてお話ししました。またワークショップでは、セミナーで学んだDXフレームワークやIT活用の実例、次世代技術のリスク対策に関する知見を活用して、仮想会社のデジタル戦略の策定やセキュリティ対策の強化に関する具体的なアイデアと提案を参加者同士で共有し、活発な議論が行われました。セミナーとグループワークによるアイデア交換、そして講師からのフィードバックを通じて、参加者の皆様がサイバーセキュリティ対策に対する理解を一層深めることを期待しています。

<当日のタイムスケジュール>

- 13:00 ~ 15:00 セミナー
- 15:00 ~ 15:15 休憩
- 15:15 ~ 17:15 ワークショップ
- 17:15 ~ 17:30 質疑応答・運営事務局からお知らせ

<お問い合わせ先> 中小企業サイバーセキュリティ対策継続支援事業運営事務局 ※当事業は東京都より委託を受け、アデコ株式会社が運営しています。

TEL : 0120-138-166 MAIL : ade.jp.cybersecurity@jp.adecco.com



テーマ

これからの企業経営で必要な攻めと守りのIT活用およびサイバーセキュリティ対策

【これからの企業経営で必要な観点：社会の動向】（セミナーテキスト4-1.）

現代のデジタル時代、企業経営におけるサイバーセキュリティの重要性は急速に高まっています。技術の進化や社会の変化は、経営戦略や方針に深刻な影響を及ぼし、経営者やビジネスリーダーは常に新たな視点や知識を維持する必要があります。

ここでは、日本とアメリカを中心に、デジタルトランスフォーメーションの取り組みや成果、さらには必要な人材の確保に関する課題や差異に焦点を当てます。特に、日本におけるデジタル化の進捗度と、国際的な競争力向上のための戦略に焦点を当てる予定です。また、フィジカル空間とサイバー空間の境界がますます曖昧になる中で、企業がどのように戦略を立て、それに伴う人材の質と量を確保するかについても探求します。

【守りのIT投資と攻めのIT投資】（セミナーテキスト4-2.）

現代のビジネス環境では、ITへの投資は単なるインフラの強化や効率化にとどまりません。正しい戦略を伴った投資が必要であり、守りと攻めの両面からの視点が求められています。しかし、これらの違いを理解し、それぞれの投資効果を最大化するアプローチは何でしょうか？

ここでは、「守りのIT投資」と「攻めのIT投資」の具体的な意味とその違いを、事例を交えて解説します。そして、これらの投資を成功に導くためのフレームワークとステップを明確に示します。さらに、2025年の崖と呼ばれる即迫する課題に向き合い、その解決策としてのIT投資の方向性を深掘りします。

【経営投資としてのサイバーセキュリティ対策】（セミナーテキスト4-3.）

デジタル時代において、次世代技術の活用は企業競争力の鍵ですが、同時に新たなリスクを伴います。その中でも、サイバーセキュリティ対策は経営者にとって急務の課題として浮上しています。

ここでは、次世代技術の活用がビジネスに与える影響と、それに伴うセキュリティリスクの高まりに焦点を当てます。具体的な事例を通じて、技術のポテンシャルとリスクの両面を詳しく探り、サイバーセキュリティ対策の真の意義を再確認します。特に、「ビジネスの継続・発展にはITの活用が不可欠」、「ITの活用にはサイバー攻撃への対策が必要」、「サイバーセキュリティ対策は経営者が自ら実行すべき」など、経営者が考慮すべき3つのポイントを取り上げ、サイバーセキュリティを経営判断の中でどのように位置付け、投資すべきかについて示唆します。

サイバーセキュリティ対策は、コストではなく、企業価値の向上やビジネスの成長に直結する経営投資として捉えるべきです。正確な判断と戦略的な投資によって、ビジネスの未来に向けた成功への道が拓かれることでしょう。

※セミナーテキストは、以下の本事業 Web サイトで公開しています。

<https://security-keizoku.metro.tokyo.lg.jp/>

第2回ワークショップでは、「中小企業の成長を支えるデジタル変革：ビジネス拡大とセキュリティの両立」をテーマに、仮想会社のビジネスモデルとデジタル化の現状を考慮し、理論だけでなく実務に即した提案を熟考しました。参加者はセミナーで得た「DX（デジタルトランスフォーメーション）」、「IT化」、「攻めと守りのIT投資」に関する知識を活かし、自身の経験や実績を組み合わせ、実用的なアイデアを追及し、共有しました。

「ワークショップ1」では、中小企業のIT活用に関する具体的な課題を掘り下げ、さらに「ワークショップ2」では、デジタル戦略とセキュリティ対策に焦点を当て、各セッション40分間にわたって、グループごとに熱心な議論が展開されました。

■ワークショップ1：仮想会社（A社）の取組に対するリスクを明確化し、具体的な対応策を考える

「仮想会社A社」について、攻めと守りのIT活用シナリオをベースに、以下4つの検討項目を通じて議論しました。

1. 中小企業ならではのIT活用のチャレンジやリスクは何か？
2. 限られた予算の中で、どのようにIT活用のバランスを取るべきか？
3. 新サービスやオンライン注文システムを安全に運用するためのセキュリティ対策は？
4. デジタルマーケティングの際の顧客データの取り扱いやプライバシー対策は？

【A社のシナリオ】

業種と概要

- 業種：サステナブルな材料を使用した家具・インテリア製造・販売
- 社員数：80名
- 主要製品：リサイクル材料やエコフレンドリーな材料を使った家具
- 主要サービス：オンラインでのカスタム家具注文サービス

攻めのIT活用シナリオ

- 新サービス開発：AR技術を活用し、顧客が自宅で家具の配置やデザインをシミュレーションできるアプリの提供
- マーケティング：ソーシャルメディアを活用し、製品のストーリーやエコフレンドリーな取組を紹介、ブランドイメージの向上
- 拡大：オンラインマーケットプレイスやエコ製品の専門店との提携を模索し、製品の拡販

守りのIT活用シナリオ

- データ保護：オンライン注文システムで収集される顧客情報や支払い情報の暗号化・セキュアな保存
- アクセス管理：オンライン販売サイトや顧客管理システムへのアクセス制御、多要素認証の導入
- 業務効率化：在庫管理やオンライン注文のフローを自動化・デジタル化し、業務の効率化
- バックアップ&リカバリ：重要な注文データや製品デザインの定期的なバックアップ、災害時の迅速なリカバリ手段の整備

■ワークショップ 2：仮想会社（B社）の攻めと守りの IT 戦略を議論し、具体的な提案を出す

「仮想会社 B 社」の現状と課題をベースに、以下 3 つの検討項目を通じて、IT 戦略における攻めと守りの要素について議論しました。

1. デジタル戦略の策定：B 社のビジネス拡大のためのデジタル戦略を明確化する
2. セキュリティ対策の強化：上記戦略をサポートするためのセキュリティ対策を検討
3. 実行計画の作成：短中期のデジタル変革計画を具体的に立案

【B社のシナリオ】

業種と概要

- 業種：エコフレンドリーな家庭用品の設計と製造
- 社員数：120 名
- 主要製品：人間工学に基づいた家庭用品
- 主要サービス：オンラインでの製品販売

デジタル化の現状

- オンラインストアを通じて、国内外に製品を販売
- SNS とブログを活用したデジタルマーケティング
- クラウドベースの CRM と在庫管理システムを導入
- 顧客からのフィードバックをデジタル化し、製品改善にフィードバック
- リモートワークを部分的に導入

デジタル化の課題

- オンラインでの販売チャネル拡大の必要性
- IoT を活用した製品の新しいラインナップの検討
- サイバーセキュリティ対策の強化

参加者の声

参加いただいた方のアンケートから、参加者の声を一部抜粋して、ご紹介いたします。

本日のセミナーに参加して何を学ぶことができましたか？

- ✓ セキュリティ対策は事業継続上必須である、セキュリティ対策は投資として考える必要がある、DX には常にセキュリティリスクが伴う、DX にはステップがあり、進めるためのフレームワークがあるということ。
- ✓ デジタイゼーション・デジタルイゼーション・DX のステップを理解できた。
- ✓ セキュリティ対策は担当者のみならず、経営層も巻き込んだ取組にすべきことだと教わった。
- ✓ 企業の成長には適切な IT 投資が必須。今までは守りの IT に重きを置いた考え方だったが、現状維持のままでは必ず衰退していくので、攻めの IT 投資にも注力しなければと思った。
- ✓ 攻めと守りの IT 投資の重要性。世界と比較した日本の ICT 投資の現状と問題点を知ることができた。また、IT 投資を「攻め」と「守り」に分ける考え方や、フレームワークに沿った DX の進め方を具体例で学ぶことができた。

本日のワークショップに参加して何を学ぶことができましたか？

- ✓ DX について、仮想会社をもとに皆で議論していく過程で具体的な手法や考え方が理解できた。
- ✓ 守りの IT と攻めの IT の両者の視点に立つ練習ができたので貴重な経験だった。
- ✓ 自社事例から想像した意見しか出せなかったため、他の参加者や他チームの様々な意見や提案が聞けて、非常に参考になった。
- ✓ 自社にはない視点やアプローチに触れることができ、新たなビジネスモデルの可能性について示唆を得ることができた。
- ✓ ワークショップを通じて、ひとりでは解決が難しい課題でも、異なる立場や多様な視点からの意見を収集し、他社の事例を学ぶことにより、解決策を見つけることができる。

ワークショップ風景



📷 ワークショップ中、各グループがホワイトボードに意見をまとめています。
それぞれのグループが異なるアプローチを取り、参加者は新たな視点を得ました。

📷 熱心に講師のアドバイスを受ける参加者の方。



運営事務局より編集後記

厳しい残暑の中、第2回セミナー・ワークショップが開催されました。ご参加の皆様はセミナー中熱心に講師の話に耳を傾け、ワークショップでは様々な意見が各チームから挙がりました。皆様にとって新たな視点や知識を得たひとときとなれば幸いです。

日本のデジタル化の後れを取り戻し、2025年の崖を乗り越える術として、DXの推進とともにサイバーセキュリティ対策の重要性はますます高まっています。今後も引き続きサイバーセキュリティ対策の普及や情報発信に努めてまいります。



8月の風景「青空と夏雲」

運営事務局一同

次回（第3回） セミナー・ワークショップ のご案内

日時：令和5年9月12日（火） 13時00分～17時30分

会場：東京都新宿区西新宿 1-22-2 新宿サンエービル 7F

テーマ：サイバーセキュリティに関する国の方針・施策およびサイバー脅威の動向

本件に関するお問い合わせ

中小企業サイバーセキュリティ対策継続支援事業運営事務局

TEL：0120-138-166

受付時間：平日 9:00～17:00（祝日を除く）

メール：ade.jp.cybersecurity@jp.adecco.com

URL：<https://security-keizoku.metro.tokyo.lg.jp/>

Facebook：<https://www.facebook.com/cys.keizoku>



<お問い合わせ先> 中小企業サイバーセキュリティ対策継続支援事業運営事務局 ※当事業は東京都より委託を受け、アデコ株式会社が運営しています。

TEL：0120-138-166 MAIL：ade.jp.cybersecurity@jp.adecco.com

